

# 教 育 研 究 業 績 書

年 月 日

氏名 岡 田 強 志

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例	2019年4月 ～ 現在	<p>講義・演習・実習科目いずれにおいても、学生が自主的に考える、行動する力を身につける、自身が確固たる意見を持ち、主張できることを講義の最終目標の一つにしている。</p> <p>織田揮準氏（三重大学名誉教授）が開発した「大福帳」を用いて、授業への出席状況を管理するとともに、学習の習熟度の把握を行っている。学生の授業への参加状況および習熟状況を見ながら、適宜教授方法を工夫し、コース目標に到達することができるよう努めている。</p> <p>（神戸教育短期大学 児童教育学科）</p>
2 作成した教科書、教材 「ソーシャルワーク実習」実習日誌	2015年4月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 3年次配当科目 ソーシャルワーク実習で使用する実習日誌一式を全面的に見直した。実習の学びがより深まるよう、実習生および実習指導者、実習指導教員が記録しやすい様式に変更した。</p>
「精神保健福祉援助実習Ⅰ」実習日誌	2015年4月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 4年次配当科目 精神保健福祉援助実習Ⅰで使用する実習日誌一式を全面的に見直した。実習の学びがより深まるよう、実習生および実習指導者、実習指導教員が記録しやすい様式に変更した。</p>
「アドバンス実習」実習日誌	2015年4月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 4年次配当科目 アドバンス実習で使用する実習日誌一式を全面的に見直した。実習の学びがより深まるよう、実習生および実習指導者、実習指導教員が記録しやすい様式に変更した。</p>
「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」 社会福祉基礎用語テストの作成	2015年9月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 2年次配当科目 ソーシャルワーク実習の履修を控える学生を対象に、実習で必要とされる知識や用語を確認するテストを作成し実施した。</p>
「ソーシャルワーク実習指導Ⅰa・Ⅰb」 社会福祉基礎用語テストの作成	2016年9月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 2・3年次配当科目 ソーシャルワーク実習の履修を控える学生を対象に、実習で必要とされる知識や用語を確認するテストを作成し実施した。</p>
「サービスマーケティング」実習日誌	2017年4月	<p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 3年次配当科目 変貌する社会の中で、人びとの暮らしに現れている変化、また変化が及ぼす負の問題に気付</p>

		る力を、実際に問題を抱えた人やその支援を行う機関にて実習を通して学ぶための実習日誌一式を作成した。
一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会 模擬試験解説講義教材「更生保護制度」	2017年11月	2017年10月に実施した社会福祉士国家試験模試の解説のために、模擬試験の出題意図および国家試験出題傾向を分析した教材を作成した。
司法面接演習教材の制作	2018年6月	RISTEX研究開発プロジェクト「多専門連携による司法面接の実施を促進する研修プログラムの開発と実装」研究協力者の一人として警察官、看護師、臨床心理士、研究者（心理）から成る多職種ワーキングメンバーを構成し、司法面接のトレーニングを行うためのビデオ教材を制作した。
一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会 国家試験対策講座 (神戸会場) 教材「更生保護制度」	2018年8月	2018年9月(台風接近のため11月に延期)に実施した社会福祉士国家試験対策講座のために、国家試験の出題傾向を分析し、出題範囲をできる限り要約し、わかりやすく解説するための教材を作成した。
一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会 国家試験対策講座 (豊岡会場) 教材「更生保護制度」	2018年10月	2018年11月に実施した社会福祉士国家試験対策講座のために、国家試験の出題傾向を分析し、予想問題を含む演習中心の教材を作成した。
司法面接啓発ビデオの制作	2018年10月	RISTEX研究開発プロジェクト「多専門連携による司法面接の実施を促進する研修プログラムの開発と実装」研究協力者の一人として、児童福祉司、児童心理司、研究者（心理）から成る多職種ワーキングメンバーを構成し、司法面接を広く社会に知っていただくための啓発ビデオを制作した。映像はYouTubeからも閲覧できるように工夫した。 社会技術研究センター（RISTEX）ホームページ <a href="https://www.jst.go.jp/ristex/pp/information/000076.html">https://www.jst.go.jp/ristex/pp/information/000076.html</a>
3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		なし
4 その他	2014年10月 ～ 現在	学生の成長を促すことを第一に考え、学生の本音を引き出すことができるように工夫して対応している。実習以外に関する学生生活や就職に関する相談の第一窓口にもなり、学生の満足度が高まるよう心掛けている。
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格 保育士	2014年1月20日	登録番号：兵庫県－052354
社会福祉士	2017年3月24日	登録番号：第203280号
平成25年度社会福祉士実習演習担当教員講習会 基礎分野講習修了	2013年7月21日	実習・演習担当教員の要件として、文部科学省・厚生労働省令第2号及び第3号（平成20年3月24日）並びに厚生省令第50号（昭和62年12月15日）に定められた講習会

平成25年度社会福祉士実習演習担当教員講習会 演習分野講習修了	2013年8月9日	実習・演習担当教員の要件として、文部科学省・厚生労働省令第2号及び第3号（平成20年3月24日）並びに厚生省令第50号（昭和62年12月15日）に定められた講習会
平成25年度社会福祉士実習演習担当教員講習会 実習分野講習修了	2013年8月30日	実習・演習担当教員の要件として、文部科学省・厚生労働省令第2号及び第3号（平成20年3月24日）並びに厚生省令第50号（昭和62年12月15日）に定められた講習会
平成29年度スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員講習会修了	2018年2月27日	主催：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業」に定める専門科目群の教員要件の一部として定められている講習会
災害福祉支援活動基礎研修修了	2016年3月21日	主催：日本ソーシャルワーク教育団体連絡協議会（一般社団法人日本社会福祉士養成校協会、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会、一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟）、公益社団法人日本医療社会福祉協会
JIMTEF災害医療研修修了	2016年7月18日	公益財団法人国際医療技術財団
司法面接トレーナー研修修了	2016年6月29日	北海道大学大学院 文学研究科
スチューデントコンサルタント	2010年10月	特定非営利活動法人学生文化創造が、学生支援相談担当者の資質、能力・適性等について一定レベル以上であることを認定する資格。資格取得には、論文審査、講座受講、筆記試験、口頭試問が課せられた。
第3回 進路アドバイザー検定合格認定	2012年10月	高校生、大学生をはじめとする若者の進路に関してアドバイスをする立場の人が、身につけておくべき進路に関する情報や知識の量を測るための検定である。
社会福祉会計簿記認定試験<初級>	2008年12月	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構認定
メンタルヘルス・マネジメント検定試験（Ⅲ種）	2012年3月	大阪商工会議所認定
福祉住環境コーディネーター2級	2014年1月	東京商工会議所認定
応急手当普及員一救急インストラクター	2011年1月	神戸市消防局
赤十字幼児安全法支援員	2013年5月	日本赤十字社
2 特許等		なし
3 その他	2012年3月	兵庫県立大学看護学部の自己点検・評価委員会の事務局を担当し、2004年度～2010年度自己点検・評価報告書「兵庫県立大学看護学部・看護学研究科の現状と課題/教員総覧」（全200頁）を作成した。 本報告書をもとに岐阜県立看護大学と大学間相互評価を実施した。
	2013年6月	宝塚大学助産学専攻科設置認可申請事務を担当

<p>） 2014年3月</p>		<p>当。厚生労働省、大阪府、実習施設（病院・助産院）など各関係機関との調整業務を担当した。平成26年4月、当初の予定通り助産学専攻科の開設にこぎ着けた。</p>
<p>） 2015年4月 ） 2019年3月</p>		<p>近畿厚生局所管の社会福祉士養成施設に係る書類の作成および提出</p>
<p>） 2015年4月 ） 2019年3月</p>		<p>厚生労働省所管の精神保健福祉士養成施設に係る書類の作成および提出</p>
<p>） 2015年11月 ） 2019年3月</p>		<p>学科ホームページ運営補助 学科内のイベント、在学生や卒業生の活動状況を写真撮影し、ホームページに掲載する文書を書き上げ、学科アーカイブとして随時更新している。サーバー管理会社にホームページ閲覧状況等分析してもらい、ホームページの閲覧回数を増やすための仕掛けづくりを工夫している。最終的には受験者数増につながるよう、鋭意努力している。</p> <p>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科ホームページ <a href="https://www.kobegakuin-sr.jp/">https://www.kobegakuin-sr.jp/</a></p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
1. 子ども白書2016	共著	2016年8月	株式会社 本の泉社	
(学術論文) 1. 施設養護ケアワークの修復的正義思想「感」(査読付)	単著	2011年3月	共生と修復 第1号 P. 18-P. 21	
2. 当事者として、「児童の暴力」に対峙すること(査読付)	単著	2011年10月	児童養護実践研究 第1号 P. 57-P. 66	
3. 「児童の進路をつなぐ協働ケアワークの企て」～学習指導ボランティア活用 のすゝめ～(査読付)	単著	2012年8月	児童養護実践研究 第2号 P. 75-P. 87	
4. 「児童養護施設を対象とした施設内暴力の実態把握とその抑止策への展開」調査研究報告書	単著	2015年6月	平成26年度 科学研究費研究 事業報告書	
5. 【研究ノート】非行のある少年を児童養護施設送致することの覚書(査読付)	単著	2015年8月	児童養護実践研究 第3号 P. 43-P. 59	
6. 「児童福祉施設における施設内暴力の法的検証とその抑止・方法化への展開」調査研究報告書	単著	2016年8月	平成27年度 科学研究費研究 事業報告書	
7. 司法面接の多様性と実務の課題	共著	2018年8月	司法福祉学研究 第18号 P. 166-P. 169	
(その他：書評) 1. 書評：神戸新聞社会部・編、神戸新聞総合出版センター、2003年『学校の力 ひょうご・教育最前線』	単著	2003年9月	月刊「少年問題」 第18号	
2. 書評：神戸市立中学校長会編、みるめ書房、2003年『変容する子どもたち』	単著	2003年10月	月刊「少年問題」 第19号	
3. 書評：土井隆義著、信山社、2003年『<非行少年>の消滅——個性神話と少年犯罪』	単著	2004年3月	月刊「少年問題」 第24号	
4. 書評：江川晴著、筑摩書房、2001年『医療少年院物語—法務教官という名の看護婦』	単著	2004年7月	月刊「少年問題」 第28号	

5. 書評：魚住絹代著、大和出版、2004年『母親が知らない娘の本音がわかる本—小中学生の危険なサインの見抜き方・向きあい方』	単著	2004年9月	月刊「少年問題」第30号
6. 書評：西日本新聞社、2005年、西日本新聞ブックレット No.5『少年事件・更生と償い 僕は人を殺めた』	単著	2005年8月	月刊「少年問題」第41号
7. 書評：品川裕香著、中央法規、2005年『心からのごめんなさいへー 一人ひとりの個性に合わせた教育を導入した少年院の挑戦』	単著	2005年8月	月刊「少年問題」第41号
8. 書評：後藤弘子著、明石書店、2005年『犯罪被害者と少年法—被害者の声を受け止める司法へ』	単著	2005年10月	月刊「少年問題」第43号
(その他：学会発表)			
1. 施設養護と「司法福祉」的個別援助方法試論	単独	2009年8月	第10回 日本司法福祉学会抄録集 自由研究発表、立正大学
2. 施設養護における「安全・安心」の実現にむけて	単独	2010年8月	第11回 日本司法福祉学会抄録集 自由研究発表、名古屋芸術大学
3. 当事者として、「児童の暴力」に対峙すること	単独	2011年2月	第3回 日本児童養護実践学会 抄録集 分科会発表、昭和女子大学
4. 「児童の進路をつなぐ協働ケアワークの企て」～学習指導ボランティア活用 のすゝめ～	単独	2012年2月	第4回 日本児童養護実践学会 抄録集 分科会発表、白梅学園大学
5. 機能する自立支援の「対象」と「コンフリクト」	単独	2013年2月	第5回 日本児童養護実践学会 抄録集 分科会発表、帝京平成大学
6. 児童養護施設の役割期待に関する一考察	単独	2013年8月	第14回 日本司法福祉学会抄録集 自由研究発表、日本福祉大学

7. 児童養護施設を対象とした施設内暴力の実態把握とその抑止策への展開	単独	2014年8月	第15回 日本司法福祉学会抄録集 自由研究発表、追手門学院大学
8. 複層的観点でとらえた児童養護施設内暴力の構図 ～調査研究「児童養護施設内の関係性における暴力の実態調査-施設職員の被害者性に着目して-」中間報告～	単独	2015年2月	第7回 日本児童養護実践学会抄録集 分科会発表、昭和女子大学
9. 保護処分としての児童養護施設送致に関する一考察	単独	2015年8月	第16回 日本司法福祉学会抄録集 分科会発表、早稲田大学
10. 複層的観点でとらえた児童自立支援施設内暴力の構図	単独	2016年9月	第64回 日本社会福祉学会抄録集 口頭発表、佛教大学
11. 被措置児童等虐待を題材とした保育士養成の責務	単独	2017年5月	第70回 日本保育学会抄録集 分科会発表、川崎医療福祉大学
12. 司法面接の多様性と実務の課題	共同	2017年9月	第2回 犯罪学合同学会抄録集 (第18回日本司法福祉学会) 分科会企画者、コーディネーター、分科
(その他：講演・シンポジウム等)			
1. 触法少年研究会 テーマ「安全委員会方式」		2011年6月	触法少年研究会 話題提供（依頼有）、 東京
2. 【FD報告】「障がい学生への支援」		2016年8月	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科
3. 司法面接トレーナー研修、司法面接研修 上級トレーナー（北海道大学）（立命館大学）	研究協力	2016年10月 2016年11月 2017年7月 2017年8月 2017年9月 2018年9月	北海道大学大学院 文学研究科 立命館大学 総合心理学部
4. 司法面接を学ぶ@新潟（新潟大学 駅南キャンパス）	講師	2016年12月	公益財団法人 三菱財団研究助成事業
5. 司法面接を学ぶ@広島	講師	2017年2月	公益財団法人

(県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま)			三菱財団研究助成事業
6. 司法面接を学ぶ@ひょうご (兵庫教育大学 神戸ハーバーランドキャンパス)	講師	2017年7月	公益財団法人 三菱財団研究助成事業
7. 兵庫県社会福祉士会国家試験対策講座 受験対策ゼミ講師「更生保護制度」 (兵庫県福祉センター)	講師	2017年11月	一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会
8. 司法面接を学ぶ@にいがた (新潟市立中央図書館ほんぽーと)	講師	2018年1月	公益財団法人 三菱財団研究助成事業
9. 司法面接トレーナー報告会 (ミニ学会) (立命館大学)	発起人	2018年1月	RISTEX研究開発プロジェクト「多専門連携による司法面接の実施を促進する研修プログラムの開発と実装」
10. 司法面接を学ぶ@東京 (筑波大学 東京キャンパス文京校舎)	講師	2018年9月	公益財団法人 三菱財団研究助成事業
11. 兵庫県社会福祉士会国家試験対策講座 (豊岡会場) 「更生保護制度」 (豊岡短期大学)	講師	2018年11月	一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会
12. 兵庫県社会福祉士会国家試験対策講座 (神戸会場) 「更生保護制度」 (兵庫県福祉センター)	講師	2018年11月	一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 国家試験対策委員会
(その他：外部資金獲得状況)			
1. 独立行政法人日本学術振興会 平成26年度科学研究費 (奨励研究)	研究代表者	2014年4月 ～ 2015年3月	研究課題名 「児童養護施設を対象とした施設内暴力の実態把握とその抑止策への展開」(課題番号：26912004) 交付決定額：500,000円
2. 独立行政法人日本学術振興会 平成27年度科学研究費 (奨励研究)	研究代表者	2015年4月 ～ 2016年3月	研究課題名 「児童福祉施設における施設内暴力の法的検証とその抑止・方法化への展開」 (課題番号：15H00274)
3. 公益財団法人三菱財団第47回 (平成28年度) 三菱財団社会福祉事業・研究助成	研究代表者	2016年9月 ～ 2018年9月	研究課題名 「【児童福祉施設版】司法面接研修プログラムの開発」 交付決定額：1,100,000円